

成果指標				
成果指標	児童クラブの開設箇所数			
指標設定の考え方	1小学校区に1児童クラブの開設を基本とする。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標27年度
目標	10	11	11	11
実績	10	10	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	一部クラブでは利用者の増加及び利用者のニーズが多様化しているため、指導員の確保及び指導員の資質向上に努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	利用者のニーズを把握しクラブ内容を評価反省しながら、職員の資質向上に努める。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	来年度予定の新制度への移行に向け、設備、運営基準の再確認を行い準備を進めること。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。